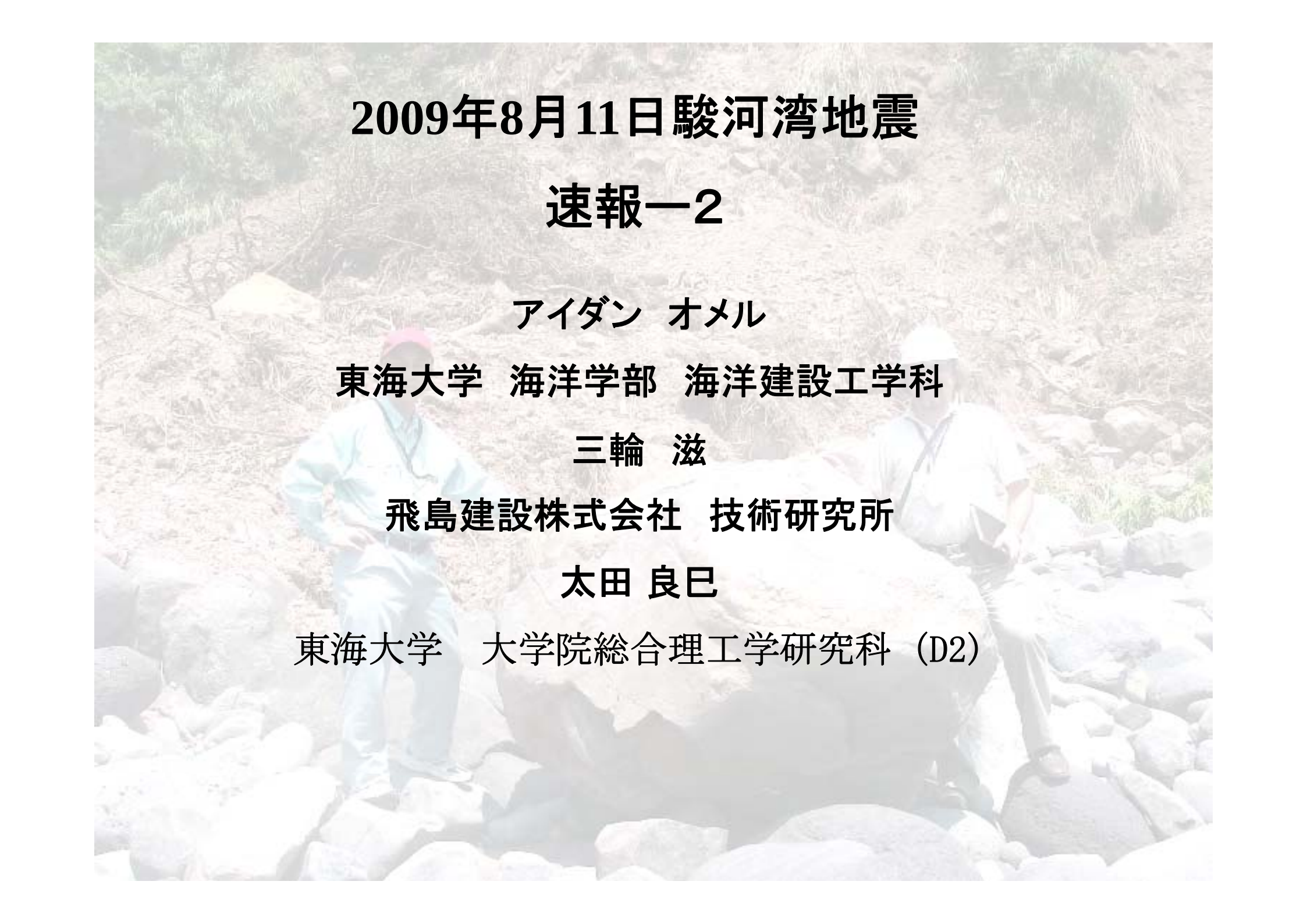


The background image shows two people, likely researchers, standing in a rocky, hilly landscape. One person on the left is wearing a blue jacket and a pink cap, while the person on the right is wearing a white shirt and a white cap. They appear to be examining the ground or a large rock. The text is overlaid on this image.

2009年8月11日駿河湾地震

速報一2

アイダン オメル

東海大学 海洋学部 海洋建設工学科

三輪 滋

飛島建設株式会社 技術研究所

太田 良巳

東海大学 大学院総合理工学研究科 (D2)

2009年8月13-14日の調査ルート



主な調査点

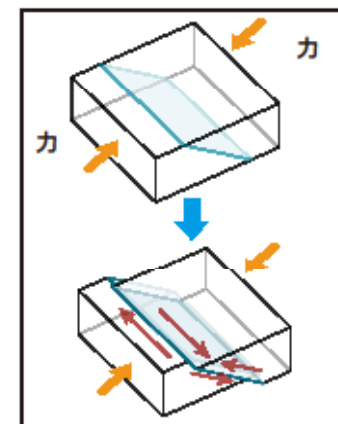
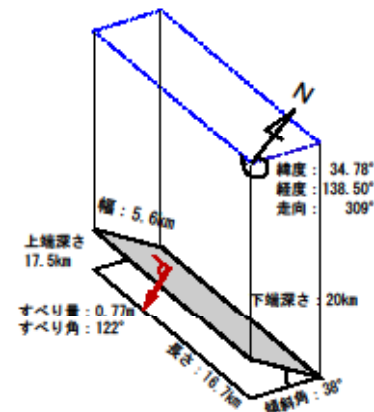
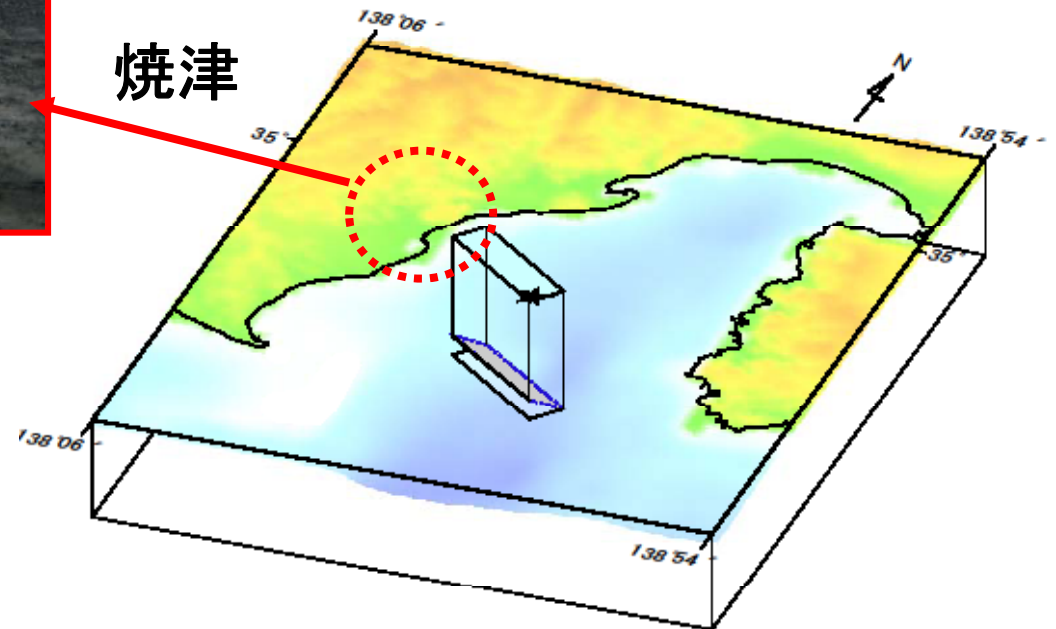
大崩海岸、焼津、大井川、吉田、榛原、相良、御前崎
調査項目

斜面、港、建物、寺と墓、橋、盛土、地盤の液状化、用壁、高速道路

地震断層と地割れ

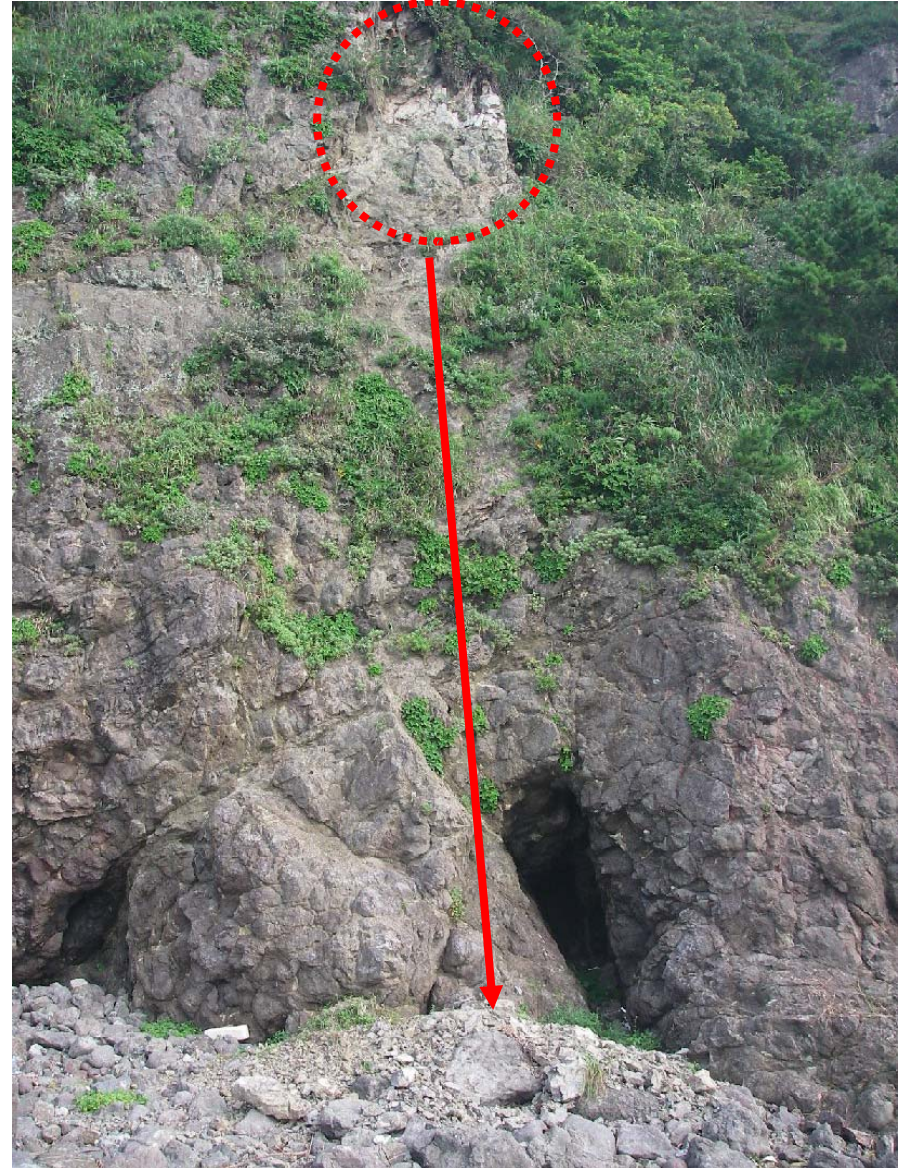
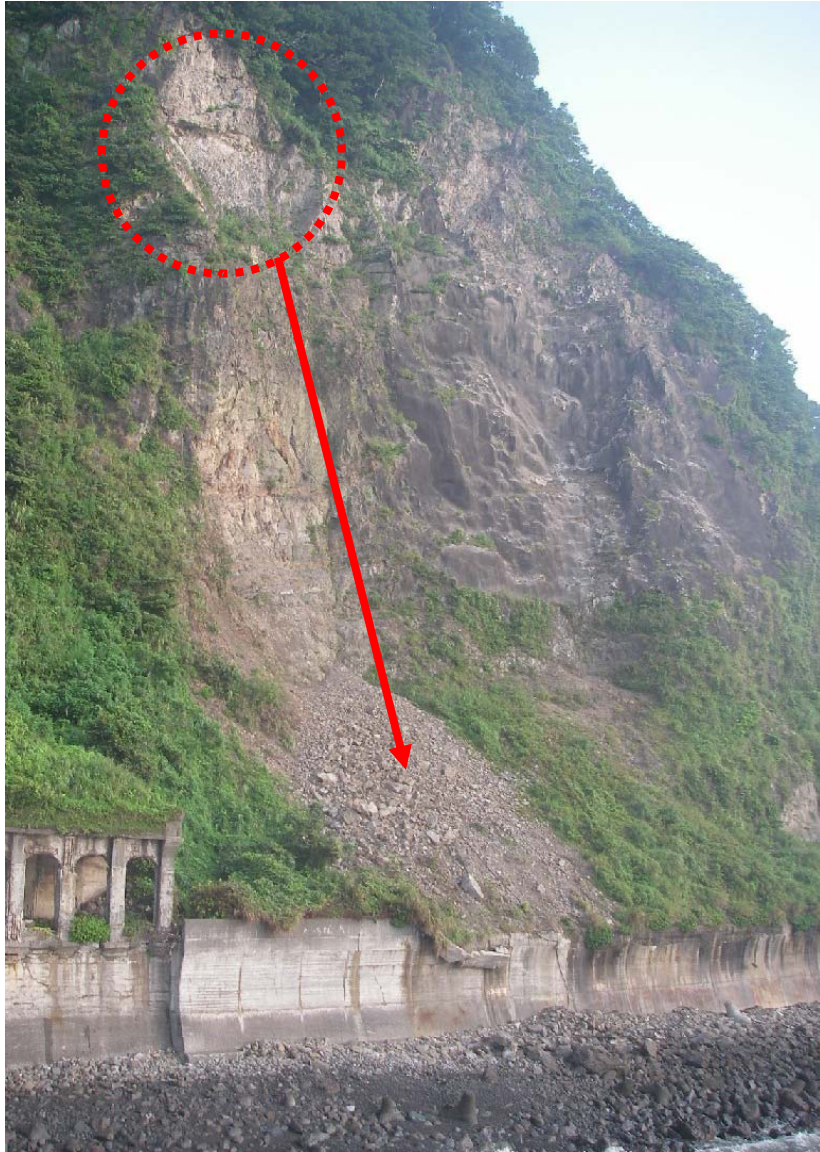


平成21年(2009年)8月11日 5時7分頃の駿河湾の地震の
震源断層モデルの概念図



国土地理院より

斜面崩壊(大崩海岸)



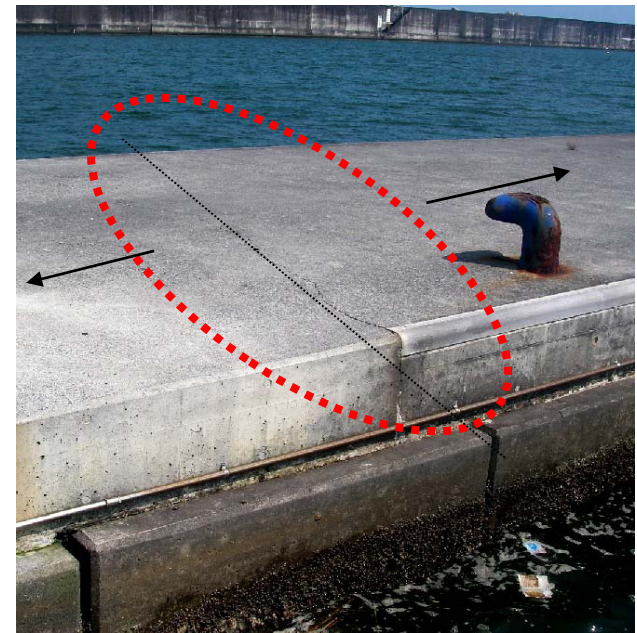
港湾施設

主な損傷パターン: 岸壁の傾斜、沈下、水平移動

焼津港

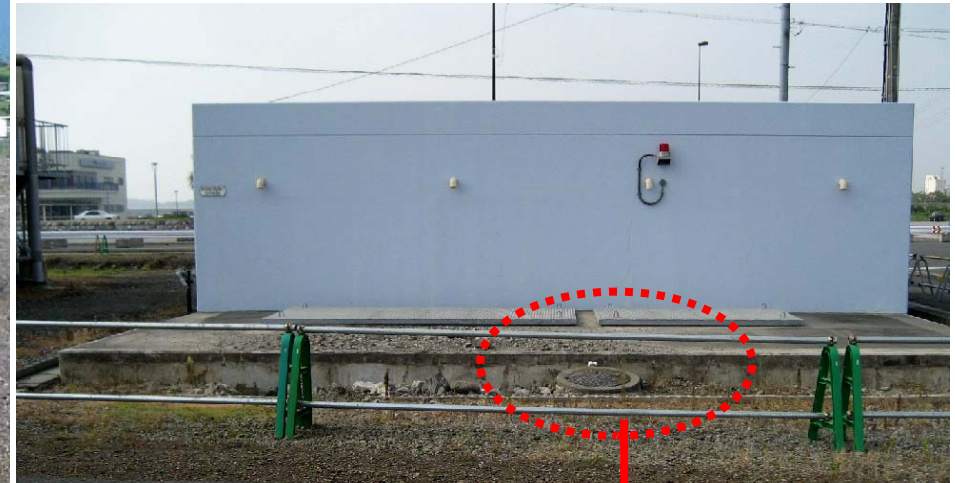


焼津港

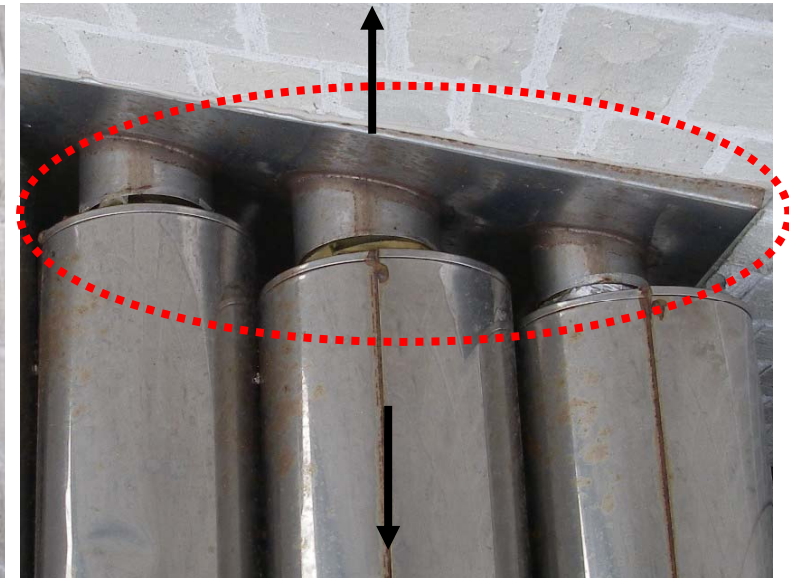
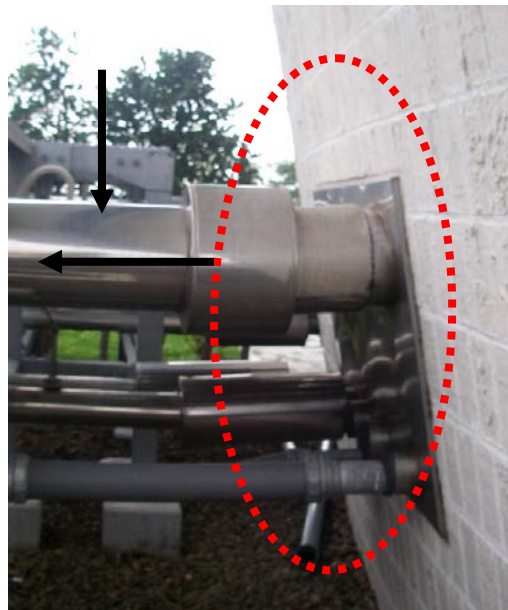


焼津港埋立地における液状化とそれに伴う被害

焼津深層水施設



焼津アクアス



屋根やブロック壁の被害(焼津)



焼津市中島地区(大井川左岸)における被害



牧ノ原市榛原における被害

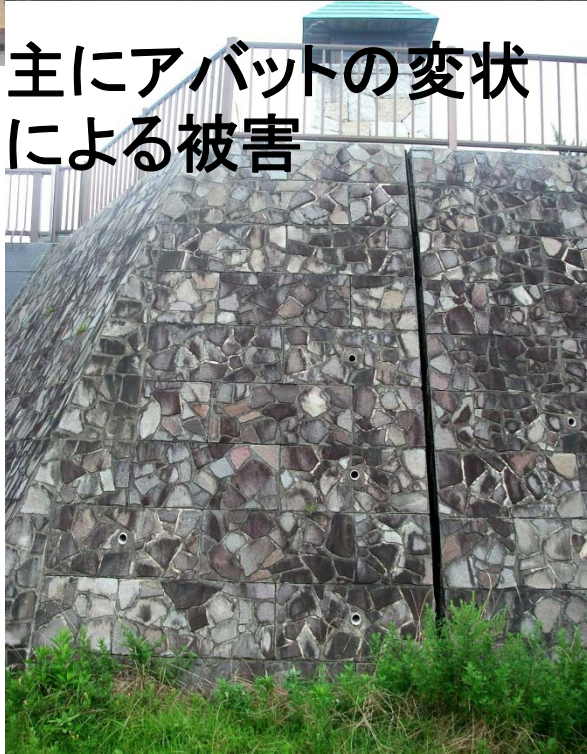


牧ノ原市相良の相良橋における被害

相 良 橋			
橋 長	65.20m	主要資材	
スパン割	32.60m+32.60m	コンクリート	619m ³
幅 員	17.0m	鉄筋(SD345)	78t
活荷重	B.活荷重	PC鋼材	27t
完 工	1996年3月	斜角	78° 00' 00"
型 式	(上部工)	PG2径間連結ボステンT桁橋	
	(下部工)	A1逆T式橋台直接基礎・P1張出式橋脚直接基礎	
		A2逆T式橋台杭基礎(Φ600鋼管杭)	
下部工寸法 (W×L×H)	A1橋台	10000×18198×10600・P1橋脚 8000×18000×11500	
	A2橋台	6000×18198×8500	
請 負 (上部工) 住友建設(株) (下部工) 住友建設(株)			

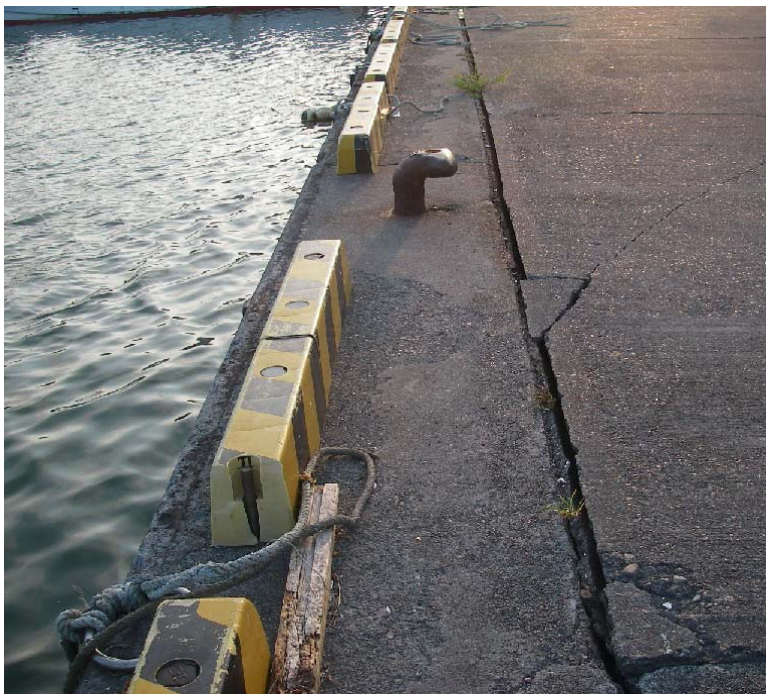


主にアバットの
変状による被害



相良港坂井地区における被害

沈下・水平動



液状化

御前崎港(埋立地・液状化)



東名牧の原SA付近における高速道路の被害



2009年8月15日の調査ルート



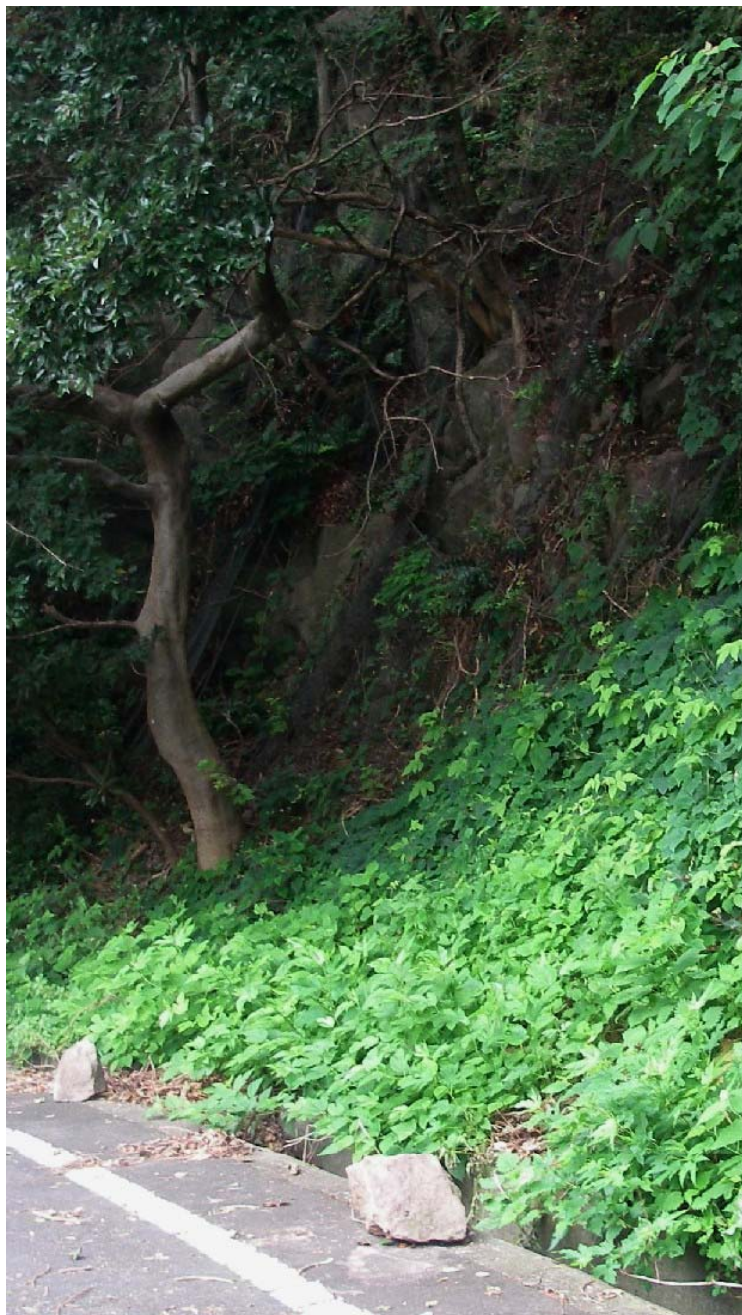
主な調査点

沼津、内浦、戸田、土肥、修善寺

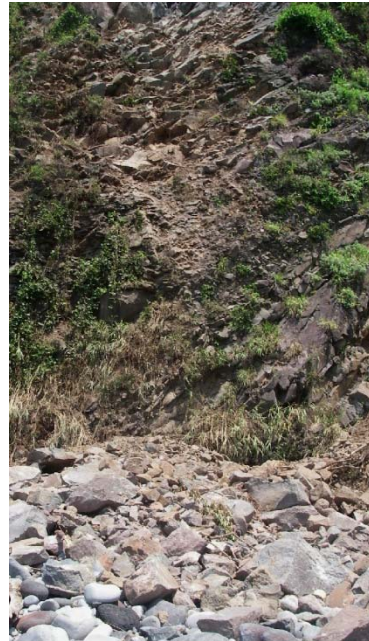
調査項目

斜面、落石、港、建物、寺と墓、橋、盛土、擁壁

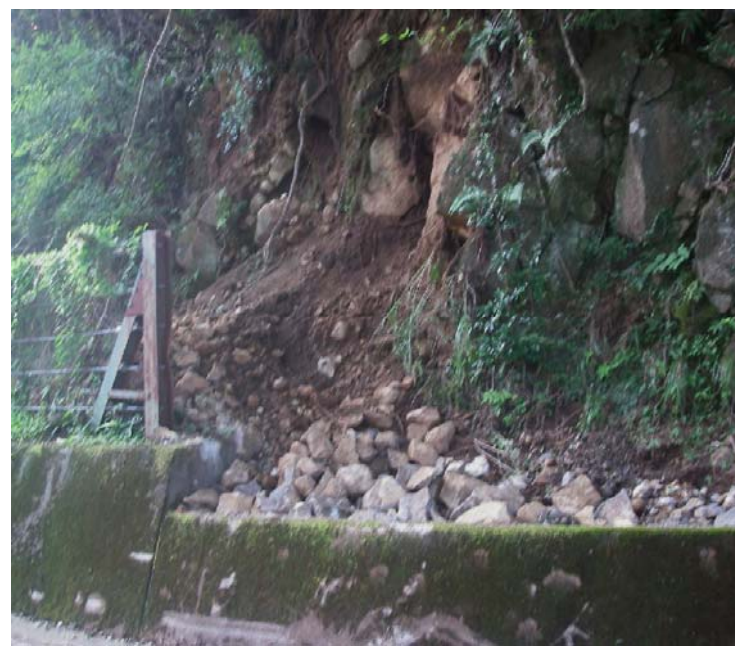
R17号沿い斜面崩壊と落石



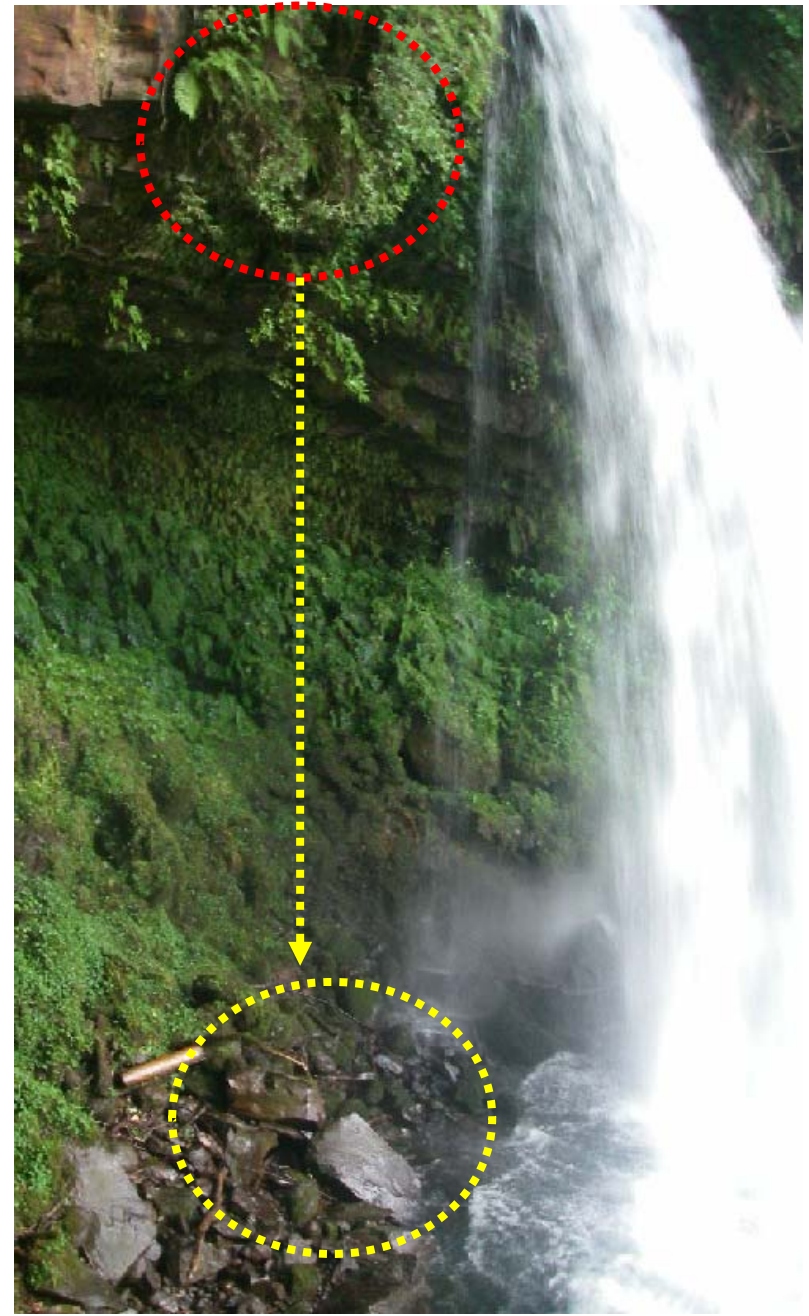
土肥の海岸における斜面崩壊と落石



R59号沿い斜面崩壊と落石



万城の滝における落石と石積擁壁崩壊



わさび畑や茶畑における被害(主に石積擁壁の崩壊による)



墓の被害

主要因：地震動、地形、斜面崩壊、擁壁崩壊、地盤の液状化

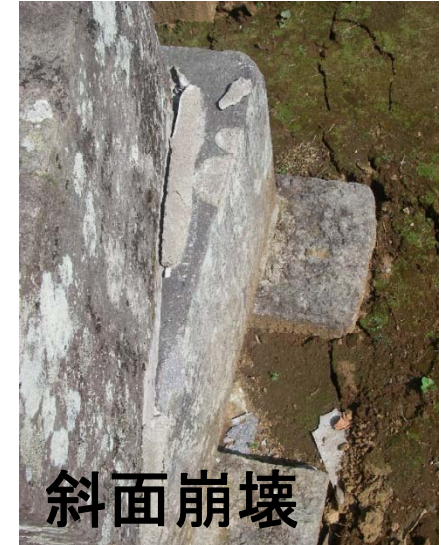
地震動



地形



斜面崩壊



擁壁崩壊



地盤の液状化



他の被害(マスメディアから)



ショーウィンドーのガラスの破壊



天井パネルの落下